

ど、庭を眺めながらゆったりとくつろげるスペースである。

中庭の奥に展示室の入口がある。中に入ると、両側のガラスケースいっぱい並んだ岩石などの展示物がいやでも目に入る。カウンターに背が高く体格のいい年配の男性がいた。この家の主人である。入館料を聞くと5ドルだと言う。彼は「展示標本は、妻が10年近くかかって収集したカナダ西部から産出する化石、岩石、鉱石、その他の資料で、独学で学名や一般名称などを調べ、解説をつけたものだ」と話した。展示資料の主なもの、アンモナイト、貝類化石、サンゴやヒトデ、マンモスやマストドンの臼歯などの化石と、「森が石に変わった」として、アルバータ州の岩石となっている珪化木<sup>けいかぼく</sup>である。化石とともに、珍しい岩石類としてのジオード(晶洞石：石灰岩中に生ずる中空の球状体、皮殻の外部層は玉髄質、内部は中に向かって石英などが生成している)があった。

残念ながら、奥さんには会えなかったが、主人によると



ジオード

この展示室建設や奥さんの調査収集費用のために、1000haもの牧草地を売却したという。現在は「牧場経営は、息子に任せ、わしらは博物館の経営を楽しんでいる」という。まさに、ゆったりとした時間の流れのなかで、地域の自然と文化を守る情熱に感動させられたのであった。

## 連載 豊平川に眠る人魚

### ⑤ 札幌カイギュウとの出会い

私と札幌のカイギュウの出会いは、2003年8月17日のことでした。それは今も忘れられない1日になりました。

その日、私は日曜日の朝をのんびりと過ごしていました。そこへ突然電話がなりひびき、衝撃の1日が始まりを告げたのでした。電話にでると、木村先生の元気な声が聞こえてきました。

「豊平川から化石が発見されたよ」



発見者の棚橋愛子さん(当時小6、右)と、山形さん(中央)、木村先生(左)。

私ははじめ「何を今さら」と思いました。なぜなら、豊平川からは貝の化石やサンドパイプという巣穴の化石が発見されることはよく知られていたからです。でもまさか木村先生がそんなことで電話してくるわけがない、もっとビッグニュースに違いない、ということは寝ぼけた頭でもすぐにわかりました。

「間違いなく動物の骨なんだ！ それも海牛だと思うんだ。今すぐこまで来てくれないか。」

木村先生の興奮気味の声に、私は耳を疑いました。海牛？ まさか札幌で…。

「海牛ですか？ 本当に海牛ですか？」

あまりに信じられないことで、今思えば失礼な質問をしました。しかし、先生は「どう見ても海牛なんだ。とにかく来てみてくれ！」といいました。私はすぐに家を出て、南区の現場に急ぎました。そこには、木村先生と発見者の棚橋愛子さん、お父さんの邦雄さん、そして、お父さんの中学校時代の担任だった山形由史先生が川原にたたずんでいました。4人の足元を見ると確かに大きな動物の骨が見えていて、太く大きな骨の特徴は遠くから見ても海牛であることが見て取れました。私はあいさつもそこそこにまずは化石をじっくり観察し、それがまぎれもなく海牛のろっ骨であることを確認しました。そして、発見者の愛子ちゃんに「すごいお手柄だ！ 大発見だ！」といいました。愛子ちゃんは、ただはにかんだ笑顔を見せました。

札幌カイギュウの研究はここからはじまったのです。(古沢)

# 2005年度の行事予定

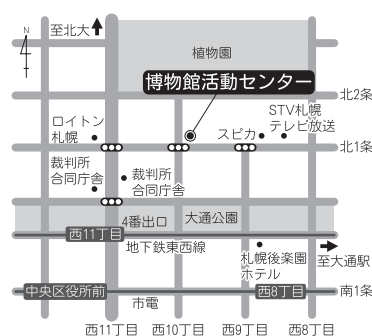
～くわしくはミュージズレター(7、11、2月発行)、  
広報さっぽろ、ホームページをご覧ください。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
資料収集	[委託]昆虫：札幌の昆虫(主に定山溪周辺)、故近藤忠雄氏収集チョウ類資料整理/水生昆虫：豊平川の水生昆虫(下流域)/藻岩山・円山の動物調査 化石：故早川浩司氏化石資料整理 学芸員による調査：豊平川水系およびその周辺の池沼の水生植物資料収集(モエレ沼など)											
化石総合調査	2005年度調査の柱 ●カイギュウ発見現場に接する火成岩の年代分析 ●カイギュウ化石全身骨格復元模型製作 ◎予備調査 ◎学術調査開始(サンプリング→分析) ◎調査まとめ：公開報告会 ◎化石調査に参加しよう！8/13 ◎地史見学会9/10											
学習会・講座・講演会	◎植物観察5/28(終了) ◎水生昆虫観察6/26 ◎昆虫採集7/30 ◎植物観察10月中予定 植物観察2月下旬予定◎ 体験学習会 ◎講演会(予定) ◎樹脂封入標本の作り方 1下～2上(3回完結) 博物館講座・講演会 ◎漂着物から環境を読む(石狩浜) 雪の日記観察3月◎ ミュースレター◎春号 ◎夏号(7月) ◎秋号(10月) ◎冬号(1月) ホームページ更新(毎月末)..... 第3回自然探求サポート事業 テーマ募集 選考 野外調査 → 室内実習 → 調査まとめ・展示準備 → 展示 発表会											
企画展	第15回企画展 「時を流れる豊平川」 ◎第16回企画展 「札幌の原風景～湿地」展 ◎第17回企画展 「生物のかたち」展 (16年度事業) 第18回企画展「札幌にカイギュウがいた頃」展◎ ★個人・団体主催の企画展が開催されることがあります。 ◎サポート事業展示1-3月											

※日程調整中のものもあります。展示タイトルは変更になることもあります。

## 札幌市博物館活動センター展示室ご案内

- 【開館時間】10:00～17:00 【入館料】無料  
 【休館日】日・月曜日、祝日、年末年始(土曜日と祝日が重なる場合は開館)  
 ▶住所：札幌市中央区北1条西9丁目リンケージプラザ5階  
 ●STVホールスピカの西隣、旧市立病院の建物がリンケージプラザです。  
 ●駐車場はありません。近くの有料駐車場におとめください。  
 [地下鉄] 東西線西11丁目駅4番出口から徒歩5分。  
 [市電] 西8丁目または中央区役所前電停から徒歩8分。  
 [バス] 北1条西7丁目バス停から徒歩3分。



## 編集後記

来館者数 **36,101**人 (2005年4月末現在)

毎年4月終わりには発行しているミュージズレターですが、今年度は5月になりました。今年は低温が続き、サクラの開花が遅れたというニュースを耳にしたと思います。博物館活動センターも自然系博物館だけに自然界の歩調に合わせてみました?!(ま)

発行・札幌市博物館活動センター

〒060-0001 札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ内5階

TEL 011-200-5002 FAX 011-200-5003 <http://www.city.sapporo.jp/museum/>



さっぽろ市  
03-K04-05-237  
17-2-28